

中主幼稚園 預かり保育

保育の重大な後退 専任保育士を削減

幼稚園の教師が 預かり保育園児を 毎日交代で保育



中主幼稚園

子どもの健やかな成長は行政の責任です

保育士削減やめ、子どもの視点に立った保育を

中主幼稚園「預かり保育」の専任保育士を削減し、幼稚園教師が毎日「交代」で保育することが、3月議会での予算に提案されています。あまりにも、子どもの成長を無視した保育環境の後退はゆるぎません。

中主幼稚園の「預かり保育」は、発足以来、専任の保育士が配置されてきました。しかし、4月から専任保育士を削減。「預かり保育」の園児を、毎日、教師が「交代」で保育することと、開催中の市議会に提案しています。

中主幼稚園の「預かり保育」により、保育環境の激変により子どもの情緒を不安にさせ成長に大きく影響します。そもそも、保育園廃園が原因で、保育園保育を踏襲すべき。そもそも幼稚園の「預かり保育」の実施は、町立中主保育園(当時)が満杯で、これに対応するため中主幼稚園で実施されたものです。4月から行われる三上幼稚園の「預かり保育」も三上保育園の廃園に伴い実施されます。それだけに、「預かり保育」の基本は、これまでの保育園保育を踏襲したものでなければなりません。にもかかわらず、今回の「預かり保育」の保育体制は、保育園に置き換えること、毎日、担任保育士が交代するようなものです。いま大事なことは、保育士の削減をやめ、子どもの視点に立った保育を行うことです。

教師が毎日「交代」で保育 子どもの保育環境を無視 現在、「預かり保育」は、5名の専任保育士で行なわれています。これを4月から1名だけを残し、後は幼稚園の教師が「交代」で保育するというものです。中主幼稚園は、園児324人(13クラス・13教師)と障害児加配(8教師)の合計21教師と、園長、副園長、主任合わせ30人で幼稚園保育がされています。その内、28人の教師が毎日、交代で「預かり保育」を行うというものです。教師への負担とともに、

「意見・ご要望をお寄せください」

「預かり保育」関連予算は、24日の本会議(午後1時より)で採決されます。ぜひ、傍聴にお越しください。あなたの「意見・ご要望」をお聞かせください。

新幹線新駅負担や議員の報酬引き上げこそやめるべきです 予算は市民の暮らし優先に

保育士削減の背景には、予算の削減(見直し)があります。今回の保育士削減額は555万円です。しかし、削減というのなら、多くの市民が、「ムダで必要ない」という新幹線栗東新駅への負担金(2億6900万円、H18年度分=1200万円を計上)や市長・議員の給与・報酬引き上げ(議員1ヶ月9万円引き上げ、24名で年間合計額3330万円)こそ見直すべきです。日本共産党市議団は、子育て支援と暮らし優先の予算実現へがんばります。



やす民報

日本共産党野洲市委員会
2006年3月21日 75

暮らしのご相談、ご要望
お寄せください

市議員 小菅六雄 (電話) 589-4971 (FAX) 589-6184
(Eメール) shgdy177@ybb.ne.jp (HP) http://www.yasusigi.net/~kosuga/
市議員 野並享子 (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102
(Eメール) s_k_nonami@yahoo.co.jp (HP) http://www.yasusigi.net/~nonami/